

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」仮申請関係様式

都道府県名	01 北海道
市区町村名	01207帯広市
自治体区分	中核市

●令和7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
01207帯広市	①学校運営上の課題	01 教職員の時間外勤務の是正	月45時間超の教員の割合は小学校で13.3%、中学校45.9%となり、令和2年度と比較して改善されているものの、4割以上の教員が月45時間を超えており、目標とは一定の乖離が生じていることから、引き続き教員の負担軽減を推進する必要がある。	教員一人一人が、「変わってきた」と実感できる働き方改革を推進するため以下の5項目を中心に取り組む。 (1)校務の効率化と役割分担の推進 (2)部活動指導に関わる負担の軽減 (3)学校運営体制の見直しなどによる改善 (4)意識の変容を促す取組 (5)学校サポート体制の充実	教職員の働き方改革推進プランに基づき下記の取組を進めた。 ①専門スタッフ等の配置による支援 ②ICTに関する環境整備等 ③コミュニティ・スクールの導入 ④校務支援システムの導入 ⑤留守番電話の導入	教職員の働き方改革について、保護者や地域住民の理解を促進するとともに、コーディネーターのスキル向上を図ることで地域との協働が進み、教育職員の負担が軽減する。	市立学校の教育職員に係る超過在校等時間の状況	小学校27 中学校42	時間	45		
01207帯広市	②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	ボランティアの人手不足により、子どもたちを見守る十分な大人数が確保できず、参加できる子ども数に限られることにより、子どもたちの体験活動の機会が減少している。	新規ボランティア確保のため、ポスターを作成し各企業・施設に掲示を依頼する。また、PRイベントや展示ブースの設置などのPR活動を年2回以上行う。	ボランティアの募集に関するチラシの作成・配布を3か年にわたり実施した。また、各ボランティア団体同士が連携する取組を促進するための支援を拡充した。	ボランティアの人手が増えることにより、各団体で十分な人員を確保し、1回あたりの参加児童を増やすことで子どもたちの体験活動の機会を充実させる。	1回あたりの参加児童数	28	人	30		

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。